

なついがわりゅういきのかい

都道府県名：福島県 団体名：夏井川流域の会

地 域

夏井川流域の会が活動する夏井川は、福島県田村市大滝根山おおたきねやまに源を発し、田村郡小野町、いわき市を經由して太平洋へ注ぐ二級河川であります。

沿川の夏井千本桜は、県内有数の桜の名所となっており、堤防上に桜並木が延々と連なっています。また、夏井川渓谷が小野町といわき市との境にあり、流れが急峻で、約15kmに渡り渓谷を形成しており、秋の紅葉時には多くの見物客が訪れます。

経 緯

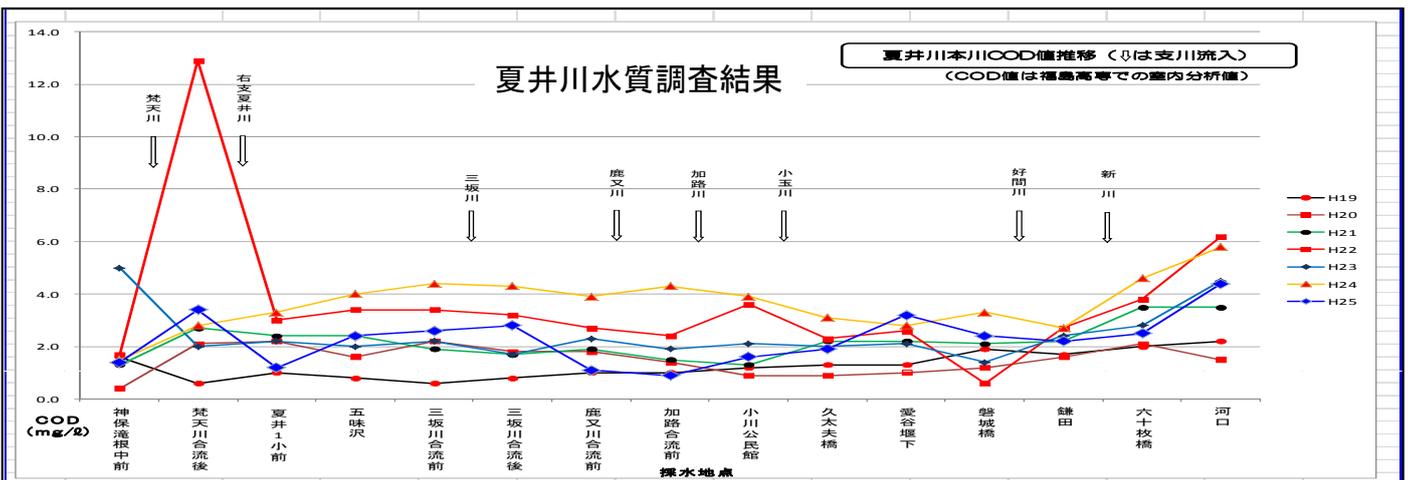
各種水環境活動団体が点在し、各々活動していましたが、福島県が取り組んでいる流域を単位とした健全な水循環系構築のための民産学官連携の組織化に理解を示し、上・中・下流域の各団体による、夏井川流域全体を活動の場とした「夏井川流域の会」を結成しました。

功績内容

各種会議等での意見を基に、流域の団体や個人、行政機関の意見を聞きながら、今後取り組んでいく活動内容等をまとめた夏井川流域行動計画（夏井川アクションプラン21）を策定し、「森・川・海的笑顔が見える流域」の実現を目指して活動しています。

具体的には、夏井川の源流から河口までをカヌーで下り、水目線で調査する「水との旅」、1日の水質の違いを調査する「24時間一斉水質調査」を実施するなど、地域住民等と活発な活動を展開しているほか、川ばた会議と称した関係団体との勉強会や意見交換会を開催し、夏井川流域活動の情報発信や河川環境保全への提言を行っています。

近年では、夏井川流域にある同じ「夏井」がつく小野町立夏井第一小学校と、いわき市立夏井小学校の連携学習の運営、講師を務め、夏井川の知識、交流を深めるなど地域のコーディネーター役として一翼を担っています。また、県内の水環境団体が一堂に会し、地域・流域間の交流活動報告、情報交換や今後の活動への助言等を目的とした「福島県水環境活動団体交流会」（平成15年度から開催）や全国規模の「全国河川愛護団体交流会」（昨年まで12回開催）の中心的な役割を果たし、県内はもとより全国規模の交流へ発展し、先進的な活動を実施しています。



小学校の上下流交流



夏井川 水生生物調査



夏井川水質調査